



## 京都市自転車総合計画2025（素案）について

### 全体

- 自転車は人、環境、社会に優しいということを念頭に置き、自転車政策を推進してほしい。

### ひととの共生

#### <安全教育・啓発>

- サイクルセンターでの自転車教室に加えて、教育現場に実際に出向く自転車教室も実施してほしい。

#### <大学生への啓発>

- 学生に駐輪許可シールを渡すときに自転車マナー講習を受講させるなどの各大学の取組を、他大学との連携の下、実施できれば良いのではないかな。

#### <自転車保険>

- 自転車保険の加入率が目標値の100%に近づくよう、未加入の方への取組をしっかりと行ってほしい。

#### <観光客への啓発>

- 自転車のルール、マナーを知らない外国人観光客への対応を検討してほしい。

### まちでの共生

#### <走行環境整備>

- 限られた予算を使い、京都市内の自転車交通量等のデータを収集することが重要である。データを基に必要な箇所での整備を進めてほしい。
- 生活道路を中心に整備を進める「スポット整備」は、特に大学周辺で必要となるのではないかな。

### くらしでの共生

#### <環境>

- 自転車の活用は環境などのSDGsの推進につながる。SGDsへの取組に何をすればよいか悩んでいる民間企業等もあるので、自転車の活用が社会貢献の一つとなり得ることを広く発信してほしい。

#### <シェアサイクル>

- バスや鉄道の路線をいきなり整備することは難しい。需要を顕在化させるという側面から、シェアサイクルを公共交通を補完するものとして位置付けて、利用を促してはどうか。
- 東京は、通信会社が通信技術を活用することで事業を運営できているが、普通の民間シェアサイクル企業では、採算性の面からおそらくシェアサイクル事業が困難となるのではないかな。

#### <健康増進>

- 障害をもつ人々も自転車を体験できる環境づくりは重要である。健康増進のための自転車活用という視点が置かれていることは非常に良いことだ。

#### <再利用>

- 不要自転車の再利用に当たっては、安全規格に注意してほしい。

### その他

#### <情報発信>

- バラバラになっている情報を一元的に管理し、サイクルサイトをより効果的に活用してもらいたい。

#### <多様なモビリティ>

- 第2次交通政策基本計画で普及を図ることとなっている、電動キックボード等の多様なモビリティに関して、自転車との関係性において、どのような取組が必要か展望を持つ必要があるのではないかな。

#### <交通事故>

- 事故件数を減らすだけでなく、重傷事故の割合を減少させるということを目指してほしい。

#### <評価指標>

- 「車道左側通行する自転車利用者の割合」について、もう少し高い数値に設定する必要はないのかな。
- コロナ禍の影響などで、全国的に令和2年は事故件数が減少している。目標値の基準には、別の年の数値を用いた方が良い。